

校長挨拶

校長 金森大次郎



昭和46年、当時の熊本県ラグビーフットボール協会八田千之副会長の「ラグビーフットボールを通して健全な青少年の育成を図ろう」との提案をきっかけに翌年の昭和47年から活動を始めた熊本ラグビースクール（KRS）は九州でも老舗のラグビースクールになります。

設立当初は28名だったスクール生もピーク時は100名を超えるまでになりました。最近ではサッカーブーム等に押され気味ですが再び100名を超えることを目指して幼稚園児～中学生まで元気に練習・試合に頑張っています。

毎週日曜日（中学生は土曜、日曜）午前9時から運動公園等のグラウンドで練習を行っています。春には全員での合宿を行い、学年を超えた交流を図り上級生のリーダーシップと世代を超えたチームワークを育成します。また九州各県のクラブとの交流試合を毎年5～6試合行います。特に大分ラグビースクールとはホームステイを行うことで地域を越えた真の交流・礼節を学びます。更に中学生と6年生は8月に開催される九州大会に向け一生懸命に練習を重ねチームプレイの素晴らしさと勝利の尊さを体験します。

KRSの組織は校長・副校長・事務局・保護者会・コーチ会で構成され、それぞれが役割を分担し全員で協力しながらボランティアで運営しています。スクール生がラグビーを通して協調性、社会性、責任感を養い健康で明るい青年に成長していく姿を楽しみにスタッフ一同張り切っています。KRSの卒業生達が各高校・大学・社会人で活躍する姿を見るのは大きな喜びです。もちろんラグビーのトッププレイヤーが育つことは嬉しいことですが、私たちが目指すのはスクール生全員が人生のトッププレイヤーになれることであり、それを目指しスクール生と一緒に努力し成長していきたいと思っています。

初心者大歓迎です。一緒にラグビーをエンジョイしましょう！